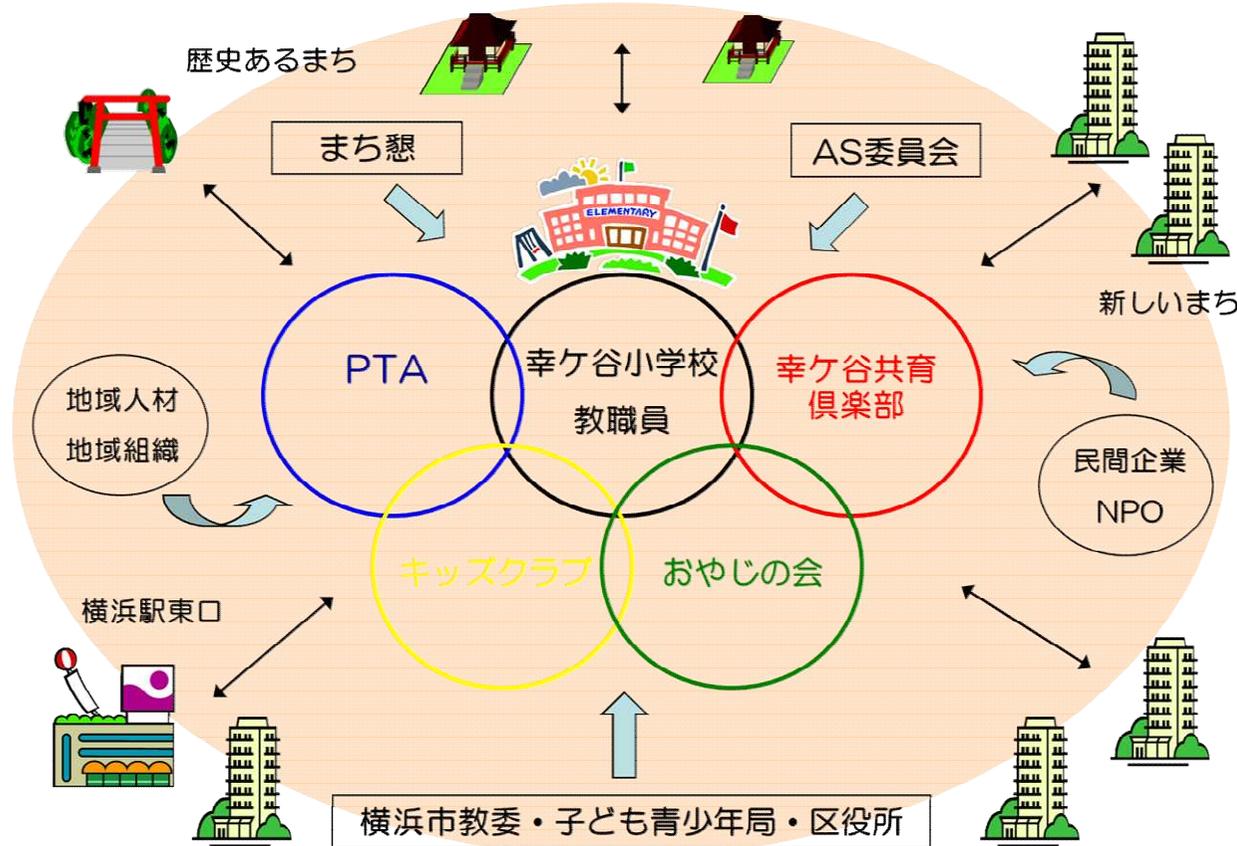


横浜市立幸ヶ谷小学校

校長 小正和彦

幸ヶ谷小学校 協働イメージ ～ まちをつなげる学校 ～



※まち懇

「まちとともに歩む学校づくり懇話会」

2連合町内会自治会、18町内会・自治会、民生委員・主任児童委員、青少年指導員、スポーツ推進委員、PTA代表他

※放課後キッズクラブ

横浜型放課後子どもプラン
授業終了後～17時～19時
土曜日・学校休業日(日祝祭日を除く)は8時30分～。
登録児童数 324名 (11/1)
内留守家庭児童数 150名
一日平均参加児童 約60名
内17時以降参加 約10名

※AS委員会

学校関係者評価委員会(アセスメント委員会)
委員数9名・年4回開催

※幸ヶ谷共育倶楽部

学校支援ボランティアネットワーク(学校支援地域本部)
登録数 165名 (9/1 現在)
保護者 131名、地域関係者 31名、学生 3名

※おやじの会

在校生・卒業生の父親によるネットワーク
登録数 43名 (12/1 現在)
学校支援、イベント企画運営、保護者向け講演会等、多岐にわたり活動

学校区の特長

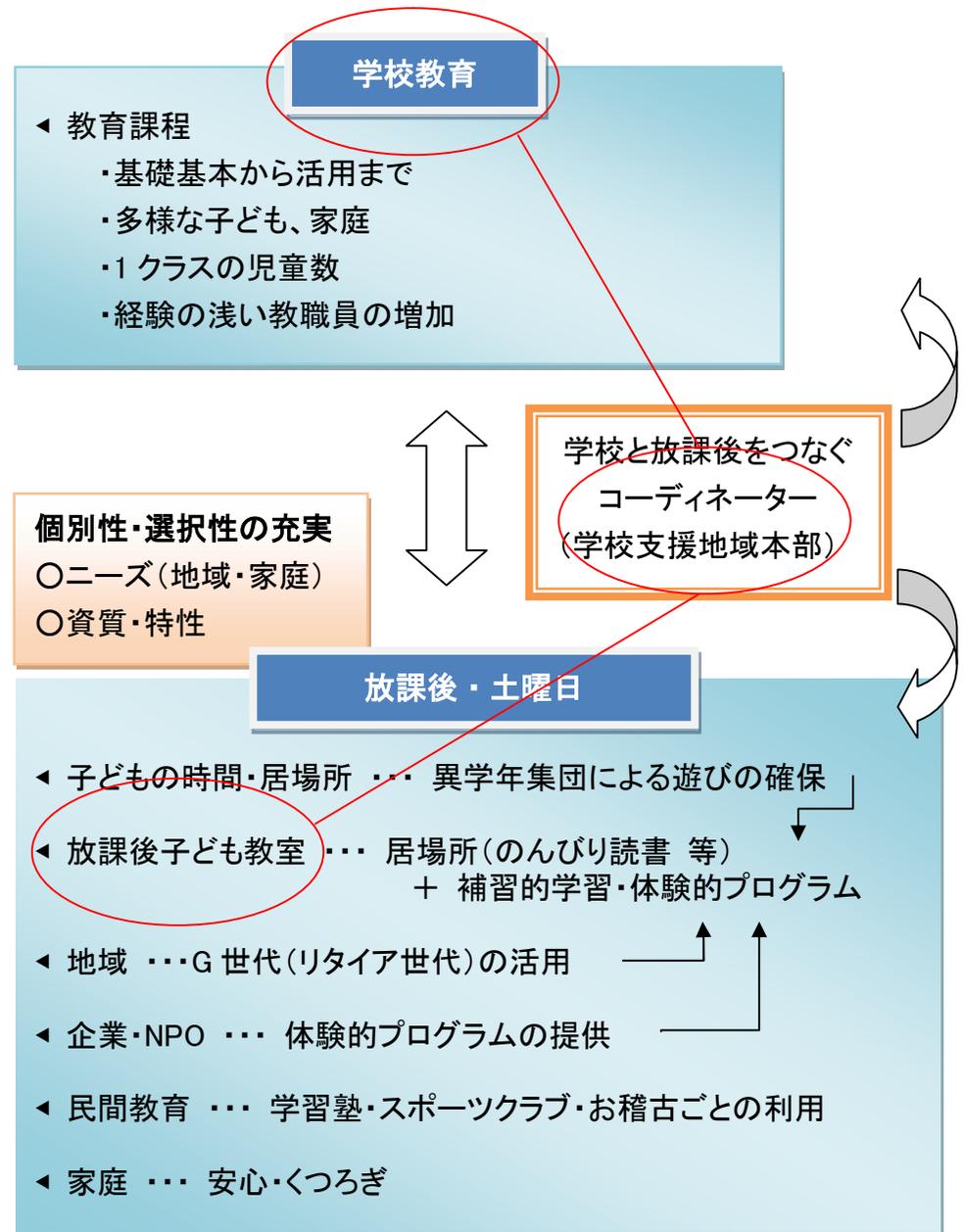
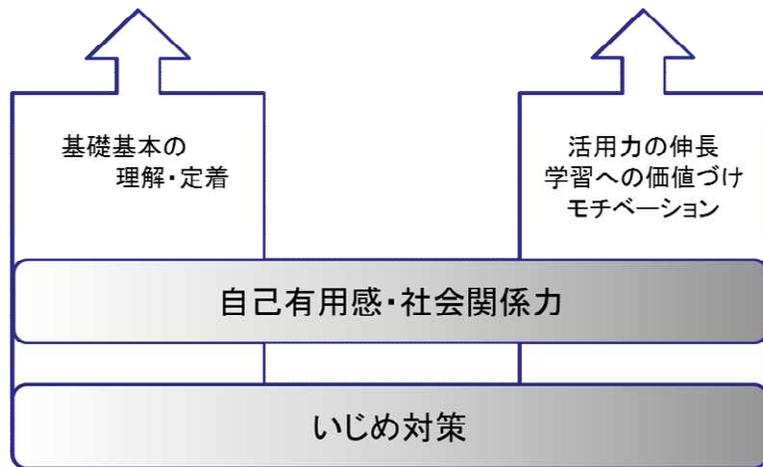
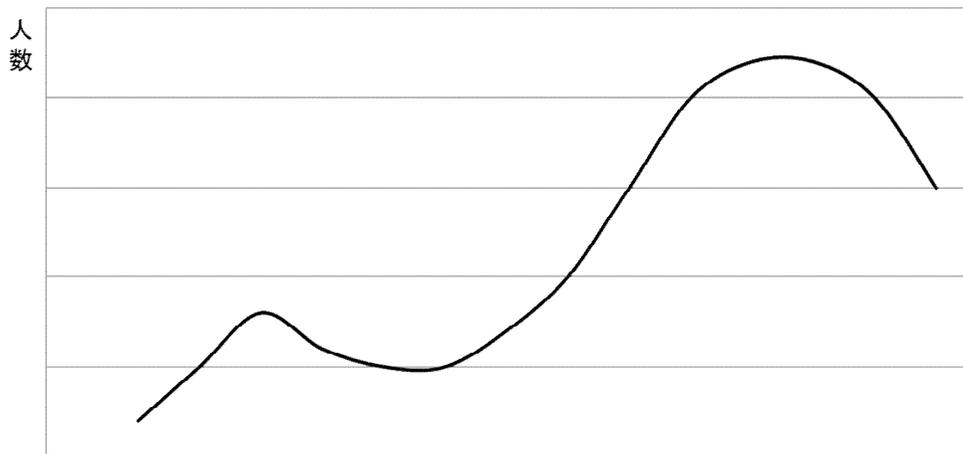
- 「歴史あるまち」と「新しいまち」(まち、学校への思いの多様化)
- 急激な児童数の増加
H12年度 197名 → 平成25年度 583名 → 増加中
- 通塾率、国私立学校(小・中)への進学者が他地区に比べ多い
- 中央市場、神奈川警察署、国道、横浜駅・・・通過する人が多い
→ まちへの帰属意識、他者意識の2極化

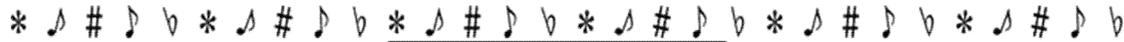
横浜市立幸ヶ谷小学校

横浜市神奈川区幸ヶ谷1-1

創立 昭和3年

児童数 583名





キッズクラブ

10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 ・素読暗唱	2 ・放課後イングリッシュ ・リアルサイエンス	3 ・放課後イングリッシュ ・シェルパ学習	4	5 参加申込制 土曜学校
6	7 ・お留守教室 ★Jr.スポーツ(体験)	8 ・素読暗唱	9 ・放課後イングリッシュ ・リアルサイエンス	10 ・放課後イングリッシュ ・シェルパ学習	11 ・特別プログラム ◀前期 終業式▶	12 参加申込制 ・陶芸 工曜学校
13	14 体育の日 キッズお休み	15 ◀後期始業式▶ ★素読暗唱(体験) 「ピースでかぼちゃ作り」	16 ★放課後イングリッシュ(体験) ・リアルサイエンス ★1年リアル(体験)	17 ★放課後イングリッシュ(体験) ★シェルパ学習(体験)	18 ・特別プログラム	19 よこはま国際フェスタ withよこはまだがしや 楽校 キッズお休み
20	21 ★お留守教室(体験)	22 ・素読暗唱	23 ・放課後イングリッシュ ・リアルサイエンス ★ドレミ塾(体験)	24 ・放課後イングリッシュ ・シェルパ学習	25 ・特別プログラム	26 わいわいサタデー キッズお休み
27	28 ・Jr.スポーツ	29 ・素読暗唱	30 ・放課後イングリッシュ ・リアルサイエンス ・ドレミ塾	31		

より効果的な教育支援に向けて

○教育課程（授業）とのリンク

- ・基礎基本内容の定着
- ・既習内容の活用場面
- ・体験的活動による新たな発見、気づき
→ 学ぶこと、学び続けることの価値付け、モチベーションの形成
↑
地域（G世代）、企業、NPO等の参画

○地域の民間教育機関との協働

- ・一定範囲内でのプログラム提供（年4回～月1回）
- ・実費については、受益者負担＋公費補助

児童生徒のメリット = 多様な選択肢

民間教育のメリット = 会報誌・放課後カレンダー等で紹介（広報効果）

(横浜市立つつじが丘小学校放課後キッズクラブ)